

U-グラウト
一般用

1. 水量とJロート流下時間との関係(目安)

試験温度	水量 (ℓ/袋)	Jロート流下時間(秒)
5℃	4.5	8.1
20℃	4.0	8.4
30℃	4.1	8.3

2. 圧縮強度(N/mm²)

試験温度	1日	3日	7日	28日
5℃	4.8	29.5	37.0	49.9
20℃	28.9	47.5	54.0	61.4
30℃	46.1	53.1	57.9	64.7

3. 膨張収縮率(%)

試験温度	1日	3日	7日
5℃	+0.05	+0.05	+0.05
20℃	+0.16	+0.16	+0.16
30℃	+0.49	+0.49	+0.49

注) +: 膨張

4. 鉄筋付着強度(N/mm²)

試験温度	3日	28日
5℃	1.51	3.06
20℃	2.53	4.03
30℃	3.55	4.08

5. 凝結時間

試験温度	始発時間(時一分)	終結時間(時一分)
5℃	9-50	14-35
20℃	5-15	6-50
30℃	3-30	4-35

6. プリーディング率(%)

試験温度	1時間	2時間	3時間
5℃	0	0	0
20℃	0	0	0
30℃	0	0	0

*物性値は、Jロート流下時間8.0秒調整時の各温度におけるデータです。

U-グラウト
パッド用

試験温度	水量(ℓ/袋)	圧縮強度(N/mm ²)			膨張収縮率(%)		
		3日	7日	28日	3日	7日	28日
20℃	2.65 (標準配合)	39.7	54.0	64.7	+0.06	+0.07	+0.07
	4.0	37.5	49.1	52.0	+0.40	+0.40	+0.40
	4.5	30.2	41.4	44.9	+0.24	+0.25	+0.25
	5.0	25.7	36.7	40.3	+0.09	+0.10	+0.10

注) +: 膨張

使用上の注意事項

- U-グラウトは湿気厳禁です。必ず屋内にて、パレット等の上で床面より離して保管してください。
- 1回に練る量は20分以内に使い切る量にしてください。
- モルタルの温度は10℃~35℃の間になるように、混練水の温度を調節して練ってください。
- 規定の水量を超過すると、モルタルが分離したり、規定の強度が得られなくなりますので、特に注意してください。
- U-グラウトを練る時は、袋の全量を使い切る様にしてください。破袋または一度開封して放置された製品は使わないでください。
- 製造日より4ヶ月以内に使用してください。
- 施工箇所・環境条件・施工方法によっては、プラスチック収縮ひびわれが発生することがありますので、事前にシート養生などの処置方法をご確認ください。
- 必要に応じて、モルタルが適当にしまった時点でコテ仕上げを行ってください。
- 養生は、濡れた布等で覆い、直射日光や風が直接当たらない様にしてください。
- 施工後3日間は荷重をかけないでください。

安全上の注意事項

- 取り扱いの際には目や皮膚などへの付着を防止するための保護具(眼鏡・手袋)を使用してください。
- 混練時には、製品を吸い込まないようにマスク等を使用してください。
- 口に入らないよう注意して作業してください。
- 目に入った場合 : 清浄な水で15分以上目を洗浄した後、直ちに眼科医の手当てを受けてください。
- 皮膚に付着した場合 : 汚れた衣服や靴を脱ぎ、付着した部分を水又はぬるま湯で洗い流してください。
- 飲み込んだ場合 : 水で口の中を洗うと同時に胃内容物を吐き出し、直ちに医者の手当てを受けてください。

本カタログの記載内容については、予告無しに変更する場合がありますので、予め御了承願います。

宇部興産株式会社

建設資材カンパニー 建材事業部 営業推進部
〒105-8449 東京都港区芝浦1丁目2番1号 シーバンスN館
TEL(03)5419-6206 FAX(03)5419-6265
<http://www.ube.co.jp>

東京建材支店 〒105-8449 東京都港区芝浦1丁目2番1号 シーバンスN館 TEL 03-5419-6205
大阪建材支店 〒530-0003 大阪市北区堂島1-6-20(堂島アバンザ20F) TEL 06-6346-1403
名古屋建材支店 〒461-0005 名古屋市中区東1-1-10(アーバンネット名古屋ビル20F) TEL 052-961-1375
広島建材支店 〒730-0031 広島市中区紙屋町2-1-22(広島興銀ビル) TEL 082-244-7234
九州建材支店 〒810-0001 福岡市中央区天神1-2-12(天神122ビル8F) TEL 092-781-2309
東北建材営業所 〒980-0014 仙台市青葉区本町2-2-3(鹿島広業ビル) TEL 022-262-6235
札幌建材営業所 〒007-0801 札幌市東区東苗穂一条1-2-44 TEL 011-784-8183



日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	0510002(一般用) 0510003(パッド用)
放散等級区分表示	F☆☆☆☆
問い合わせ先	http://www.nsk-web.org/

販売取扱店

セメント系無収縮グラウト材

U-グラウト

一般用 : 一般社団法人 公共建築協会評価 NEXCO規格(試験法312)に適合
厚生労働省令第5号水質基準適合商品 F☆☆☆☆ 適合商品
パッド用 : F☆☆☆☆ 適合商品 (NSK自主表示制度に基づく表示)



セメント系無収縮グラウト材

U-グラウトは、高荷重のかかるコンクリート構造物の基本部分や接合部の充填に最適です。

コンクリート構造物の基本部分や接合部の充填には、高荷重がかかるため、高強度、高物性のモルタルが求められます。また、これらの部分に隙間が開いていた場合、荷重に偏りが起こるので、隙間の充填が必要になります。U-グラウトは、このような高強度・高流動性・無収縮の条件を満たすために開発された、オールプレミックスタイプの無収縮材です。



無収縮

U-グラウトには酸化カルシウム系膨張材が配合されており、乾燥時の収縮がありません。

非金属性

U-グラウトは金属性骨材を使用しておりませんので錆が発生しません。

高流動性

流動性に優れているので、くまなく充填することができます。
(※パッド用には流動性ははありません)

プレミックスタイプ

セメント、珪砂、無収縮材等を理想的にブレンドしたプレミックスタイプであるため、現場では水を加えて練るだけで高品質のグラウト材が得られます。

ノンブリージング

ブリージングがないため空隙が発生しません。このため、逆打・逆巻工法に最適です。

高強度・高接着性

高強度を発生し、優れた接着性を発揮します。

U-グラウト 一般用

通常の流し込み工法に適した高流動性のグラウト材です。

荷姿 25kg紙袋

用途 機械・構造物基礎・橋梁支承・逆打・逆巻工法・アンカーボルト固定・鋼板巻立て

仕様	U-グラウト(一般用)	水量	Jポート流下時間	練上り量	可使用時間
	1袋(25kg)	3.7~4.6 ℓ/袋	8±2秒	約13ℓ	約20分

*1 mlに必要なU-グラウト(一般用)の量は約75袋です。 *水量は気温、材料温度、水温等により若干変化します。

施工方法

① 準備

(1) 材料・道具

- U-グラウト(一般用)
- 水：飲料用またはこれに準ずるもの
- ミキサー：ハンドミキサー(1100rpm程度 攪拌羽根はディスクタイプφ115~150mm推奨) または高速グラウトミキサー(※アルミ合金製攪拌羽根は不可)
- 計量器、バケツ、ポンプ、コテ等

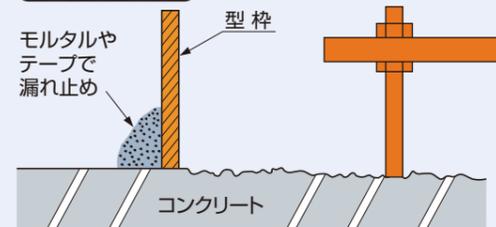
(2) 施工部の清掃

- 金属部やコンクリート表面の油分や汚れは完全に除去します。
- コンクリート表面は粗面にします。
- 施工前には適度な水打ちを行います。

(3) 型枠

- 型枠は堅固に組立て、グラウトが漏れない様にシールします。
- 注入口の反対側に、充填面よりも高い位置に空気抜き口を設けてください。

型枠の組立て



② 混練

- ミキサーまたは攪拌容器に規定量の水を入れ、U-グラウトを徐々に投入しながら攪拌します。



グラウトミキサー

投入後1分間攪拌し、周囲の材料をかき落とし、さらに2分間充分に攪拌する。

③ 流し込み



U-グラウト パッド用

高精度の据付けが要求される機械等の基礎用

荷姿 25kg紙袋

用途 機械据付・鉄骨据付・パイプ回りの充填

仕様	U-グラウト(パッド用)	配合種類(用途)	モルタルの硬さ目安	水量(kg)	練上り量(ℓ)	練上り1㎡当りU-グラウト(袋)
1袋(25kg)		標準配合(機械基礎等)	手で握って開いた時に形を保つ程度	2.5~2.8	約12	83
		建築基礎用(鉄骨柱基礎等)	餅程度	4.0~4.5	約13.5	74
		漏れ止め用(型枠漏れ止め等)	充填器使用可	4.5~5.0	約14	71

*水量は気温、材料温度、水温等により若干変化します。

施工方法

① 準備

(1) 材料・道具

- U-グラウト(パッド用)
- 水：飲料用またはこれに準ずるもの
- 練り板および角スコップまたはハンドミキサー(600~1100rpm 攪拌羽根はφ115mmディスク型推奨) (※アルミ合金製攪拌羽根は不可)
- バケツ、コテ、ウエス等

(2) 下地コンクリート調整

- 基礎コンクリート表面は目荒らしを行い、油分や汚れを落とし、きれいに清掃します。また、適度な水打ちをしてください。U-グラウトパッド用の施工前にセメントペーストを塗付けておくことで接着強度が上がります。

② 混練

(表1)

配合種類	練り混ぜ器具	1回の最大練り混ぜ量	
		パッド用モルタル	水量
標準配合	練り板で手練り	25kg(1袋)	2.5~2.8kg
	ハンドミキサー	5kg*	0.52~0.56kg
建築基礎用	ハンドミキサー	25kg(1袋)	4.0~4.5kg
漏れ止め用	ハンドミキサー	25kg(1袋)	4.5~5.0kg

*パッド用モルタル5kg以上のハンドミキサー混練は困難

- (1) 標準配合の場合、練り板にパッド用モルタルを広げ、所定量の水(表1)を徐々に加えながら角スコップ等で良く練り混ぜる。ハンドミキサーで練り混ぜる場合、練り混ぜ容器に所定量の水(表1)を入れ、計量したパッド用モルタル(5kg)を徐々に投入しながらハンドミキサーで練り混ぜ、全量投入後、2分間練り混ぜます。

- (2) 建築基礎用および漏れ止め用の場合、練り混ぜ容器に所定量の水(表1)を入れ、パッド用モルタルを徐々に投入しながらハンドミキサーで練り混ぜ、全量投入後、2分間練り混ぜます。

- (3) モルタル練り混ぜ後、20分以内に使い切ってください。

③ 施工

- 標準配合の場合、所定の位置にモルタルを置き、十分に突き固めます。突き固め層が厚い時は、数回に分けて行ってください。現場係員の指示に従い、高さ等をあわせて仕上げを行ってください。

- 用途に応じて、コテや充填器(例：(株)友定建機社製 ツマール)等で成型および充填してください。